

千里の道も一歩から2

令和5年度
東能勢小中学校
進路通信 No.31
2月9日
発行者:松岡



入試に向けての最終確認

いよいよ明日から私立高校の入試が始まります。今から緊張している人もいると思いますが、力を発揮できるように頑張ってください。

少しでも気持ちに余裕が持てるように、「入試会場に着くまで」「入試会場に着いたら」「入試が終わったら」とそれぞれの注意事項や確認事項をまとめて載せています。よく読んで、しっかりと確認しておきましょう。(No.29、No.30の進路通信にも詳しくは載せているところもあります。)

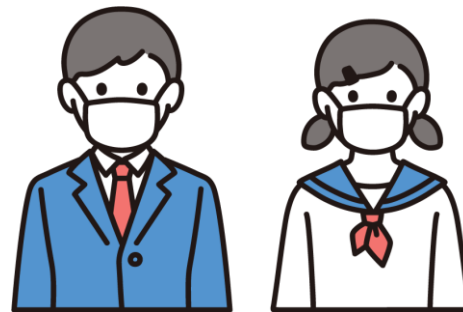
○入試会場に着くまで

①もし、入試当日の朝に、何かトラブル・困ったことがあれば・・・

当日の朝、「体調が悪い」と感じたら、6時30分から7時30分までの間に、東能勢中学校(072-739-0014)へ連絡してください。受験校によって対応が多少異なりますが、中学校から受験校へ連絡を行い、別日受験・別室受験等の対応をお願いすることもできます。なお、「個別で受験校へ直接電話することはやめてほしい。」と各校から言われています。

②持ち物チェックは前日のうちに!

入試当日、会場に着いてから「忘れ物」に気がつく、すごく緊張してしまい、テストに集中できなくなります。持ち物は前日のうちに準備し、当日の朝、出発する前に最終確認を行いましょう。そして、 unnecessaryなものは持っていないようにしましょう。



③服装・身だしなみはきちんと!

きちんとした服装・身だしなみで入試へ行きましょう。きちんとした服装は、卒業式等の行事の服装と同じで、ネクタイ・リボンを付けた制服です。防寒着等を着るなど、防寒対策は必ずしましょう。(使い捨てカイロをもっていくと、手指を温めることができ便利です。)試験教室は暖房が入っていると思いますが、感染症防止のため換気のために外気が入ってくるところもあります。そのため、温度調節がしやすい防寒対策が良いです。防寒着は無地のものがよいです。入試のため、文字が入っていたり、絵が描いてあったりすると脱がなければならいこともあります。気を付けましょう。

④交通機関、運行ダイヤのチェックは必ず事前に!

入試当日は気持ちに余裕をもった行動をするためにも、事前に調べたとおりに受験校へ行きましょう。万一、電車・バスなどの公共交通機関が何らかのトラブルで遅れたり停まったりした場合は、《遅延(延着)証明書》を発行してもらえないはずですが。(ただし、JR西日本・阪急電鉄などは紙での証明書の発行をやめ、WEBに切り替えています。必要な場合は駅員さんに相談をしましょう)。その場合、試験時間の繰り下げ等の措置を取ってもらえる可能性もあります。

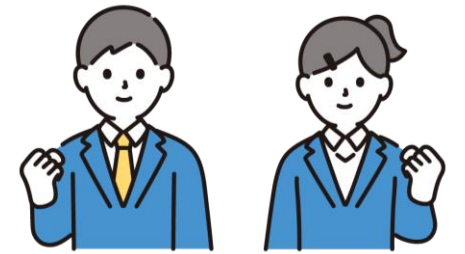
⑤受験校には、試験の始まる30分前には到着するように!

受験校には開門時間を過ぎた時間、集合時間の30分前がベストです。

○入試会場に着いたら

①試験会場に入ったら、周りを見て大きく深呼吸しよう。

まずは気持ちを落ち着かせることが大切です。ここまで頑張った自分の姿を思い出せば、きっと気持ちが落ち着くはずですが、適度な緊張感を持って試験問題に取り組みましょう。



②「はじめなさい」の合図があれば、『名前』『受験番号』を最初に書こう。

『問題を解く』『答を書く』…それよりもまず、【名前・受験番号】を書くのが一番大切です。 出願～合否発表、入学までは、自分の『受験番号』は非常に大切な数字です。



③「終了です」の合図があれば、すぐに手を止めよう。

「もう少しで分かるのに…」「そこは最後に書こうと思っていたから…」と、試験終了の合図があったのにそれを無視して何かを記入した場合、試験官に『不正行為があった』と受け取られても仕方ありません。当たり前のことですが、自分できちんと時間配分をして、試験終了の合図があれば、すぐに手を止めて筆記用具を置きましょう。

④終わった試験の答え合わせをしない。

休憩時間中に、提出した解答の答え合わせをしても何のプラスにもなりません。試験の合間の休憩時間は、「トイレに行っておく」「次の試験科目の勉強をしておく」のがベストです。

⑤試験中に何かあれば、試験官に申し出よう。

過去の入試について、ある中学校の進路担当の先生からこんな話を聞きました。
『ある科目の時に、監督の先生が問題用紙を1枚配り忘れてたらしくてね…うちの受験生も緊張で言えなかったらしくて、結局10分後に監督の先生が気づいてくれたんだけど…。』
試験会場には複数の先生がおられるはずですが、何かあれば遠慮なく申し出ましょう。

○入試が終わったら…

①「受験票」は入学手続きが済むまで保管しておこう!

「やっと入試が終わった!」と思っても、絶対に受験票をなくしてはいけません。翌日以降に届くはずの合格通知と一緒に、“正式に〇〇高校生になる4月1日まで”は大切に保管しておきましょう。受験番号はメモしておくといいです。

②家に帰るまでが受験

寄り道や買い食いなどをせず帰宅しましょう。学校ではみなさんが無事に帰ったかを、担任は心配して待機していますので、帰宅したらすぐに東能勢中学校へ帰宅したことを連絡してください。

③合否通知が家に届いたら…

各私立高校は、合否結果をみなさんの自宅へ速達で郵送するところが多いです。12日までに合否結果が家に届いた場合は、13日(火)に担任の先生に報告してください。不合格の場合は、すぐに次の入試のこと(私立高校であれば1.5次入試を受けるかどうか)を話し合わなければいけないので、忘れないように。

「今日なしえるだけのことに、
全力を尽くせ。
しからは明日は
一段の進歩があろう。」

(物理学者・ニュートン)

保護者の皆さまへ 以下の点にご注意ください

- ①私立高校を専願合格すれば、後日、入学手続きや制服採寸・教科書購入等の手続きで、高校へ行くときがあります。土曜・日曜ならば構いませんが、高校からの指示で平日に行かなければいけない場合には、事前に担任に「登校日程」を必ず連絡してください。
 - ②専願合格者の入学金等の費用の払い込み期限は、2月中旬～2月下旬(高校によって日程は異なります)が多いです。これら諸経費は如何なる理由があっても期限内に払い込まなければ【合格取り消し】となってしまいます。入試要項・合否通知封筒にある書類等を見ていただき、期限内に必ず払い込みを済ませてください。
 - ③私立高校に併願合格した人の入学手続きは、ほとんどの高校で『公立一般選抜発表後(3月19日を含めての指定日)』となっていますが、こちらも高校によって対応、期限は異なります。公立入試で残念な結果になった場合は、併願合格している私立高校へ指定された期限内に入学手続きを必ず取ってください。
 - ④入学手続きをきちんと終えるまでは、『合格通知書』『受験票』を大切に保管しておいてください。
 - ⑤公立入試に関する出願書類、受験料振込書等は、全て中学校で用意して受験希望生徒に渡しますので、私立入試の時のように各高校へ取りに行く必要はありません。
なお、特別選抜を受験する生徒には、すでに配付しております。
- 公立一般選抜を受験する生徒には、2月19日(月)に必要書類一式を配付する予定です。
※何かご不明な点がございましたら、担任、進路担当までご連絡ください。

